

# 会 議 等 出 席 連 絡 票

報告日：令和6年9月9日

報告者氏名	松崎 一也
出席者	松崎 一也
会議等名称	令和6年度 第1回健康と生きがいづくり部会
会議等主催	いわき市保健福祉部 地域包括ケア推進課
会議等日時	令和6年9月5日(木) 17:30～19:00
開催場所	総合保健福祉センター 健康運動室
内 容	<p>◇報告事項</p> <p>① おうちでつながるつどいの場の実施状況について</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 1台ずつタブレット端末を貸与しタブレット教室を開催するほか、自宅からタブレット端末を利用してオンラインでのシルバーリハビリ体操や管理栄養士等の専門職による介護予防講話の実施。</li></ul> <p>② シルバーリハビリ体操の実施状況について</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 新型コロナの影響により減少していた派遣回数および参加延べ人数は徐々に増加傾向にあるも、指導士の引退等により指導士不足の状況続くも、指導士養成募集定員を増加させたことで現在は市同士の養成も徐々に増加傾向にあり事業継続に努めている。</li></ul> <p>③ いきいきシニアボランティアポイントについて</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 市内の65歳以上の高齢者を対象に「高齢者の社会参画」「生きがいづくり」を目的とし、ボランティア活動に従事した方に対してポイントを付与し、いわきの特産品などに還元。</li></ul> <p>④ 地域リハビリテーション活動支援事業について</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 地域における介護予防の取り組みを強化するために各専門職が介護職員等へ介護予防に関する技術的な助言を行うことで自立支援に資する取り組みを促すことを目的に令和5年度より開始。</li></ul>

◇協議事項

◎短期集中予防サービスの新たな手法について

- ・ 概要：利用対象者に対し専門職による個別の機能訓練プログラムを“短期間”かつ“集中的”に実施することで生活行為の改善を図り“自宅での在宅生活の継続を図る”ことを目的。
- ・ 課題：介護事業所で実施する短期集中予防サービスでは、終了後に介護サービスにつながるケースが多く本来の目的である「卒業」に繋がらない。
- ・ 提案：市直営生活行為改善プログラムのモデル実施

以上